

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2 年	学科	生物生産科	必選	選択
教科	農業	科目	野菜	単位	2 単位
使用教材	野菜(実教出版)				
学習目標	① 野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得する。 ② SDGsの観点から、生育野菜の特性や生産に適した環境を理解する。 ③ 品質と生産性の向上について理解し、経営の改善を図る能力と態度を学ぶ。				
単元と内容					
1 学期	☆野菜を学ぶにあたって 第1章 野菜生産の役割と動向 ◎ 野菜の分類 ◎ 野菜生産と供給のしくみ ◎ 安心安全な野菜 (実習)夏野菜の栽培 収穫物の調製と販売		○温室・ほ場の夏野菜栽培を中心に学習する。		
			○野菜生産と育苗について理解する。		
			○野菜生産と育苗が、野菜の品質を左右することを説明できる。		
2 学期	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 1 野菜の生育と生理 ◎野菜の生育と生理 ◎光合成のしくみと物質の生産 実習 秋野菜の播種と管理 2 野菜の栽培環境と生育調節 ◎ 光・温度・湿度環境と調節 3 人工環境における栽培技術 ◎ 養液栽培(コマツナ・ミニトマト等)		○温室・ほ場の秋野菜栽培を中心に学習にする。		
			○基本的な栽培の知識(光合成・呼吸など)を理解し、その栽培技術を習得する。		
			○収穫・調製の仕方、販売方法などを作物ごとに説明することができ、実際販売実習に参加する。		
3 学期	第4章 果実を利用する野菜の栽培 第5章 葉や花茎を利用する野菜の栽培 第6章 根を利用する野菜の栽培		○基本的な知識・技術を理解できる。		
			○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	野菜の生産性と品質の向上を図るために、栽培技術の習得に努め、経営についても体系的に理解する。			
II	思考・判断・表現	生産と経営に関する課題について意見を述べ、改善策を指導者と共に話し合うことができる。			
III	主体的に学習に取り組む態度	生産技術と経営について関心を持ち、経営を発展させるために品質の向上を目指して取り組むことができる。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	記述の確認(ノート) 定期考査 口頭試問による確認(実技試験)		定期考査 行動の記録 (改善点を見出す意見を評価)		
					予定
					70 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			